

地域とともにある 学校づくり 学校支援 だより

令和7年11月発行 上田市教育委員会 学校支援プロジェクト会議

8月と9月に開催した学校支援プロジェクト事業の概要をお知らせします。どちらも大変有意義な会でした。各校、各地域の「地域学校協働活動」の参考になれば幸いです。

①学校支援ボランティア交流会

8月19日、城南公民館で学校支援ボランティア交流会を開催しました。市内の21の小・中学校の運営委員やボランティア66名が集まり、互いの活動について語り合い学び合いました。

第一部

ミニ講座 ① 講演

「子どもたちとの接し方」

講師 木下さん（第四中学校 教頭）



ミニ講座の内容
(子どもたちと接する時のポイント)
1 距離の取り方
2 言動での留意点
3 ユニバーサルデザイン的な配慮

- 現役の教頭先生のお話が聞け、大変参考になりました。子どもたちの年齢に応じた接し方に気をつけたいと思いました。

② あそびプログラム

「コミュニケーションあそびプログラム」

講師 清水さん（あそびinBASEアフターパーフェク信州理事長）



- ちょっとしたあそびに大きな発見があり感動しました。初めての人と直ぐに仲良くなれ、話をしやすくなりました。

事例発表 ① 中塩田小

「地域とともにつくるコミュニティールームの取り組み」発表者 木口さん（コーディネーター）



自主的な組織への移行
学校からの要望で活動している状態
⇒主体的な提案型の独立した活動も
組織の拡大
学校の敷居を低くして、多くの人に
学校に関わってもらえるようにしていく

- 多様な活動があり参考になりました。
- おやじの会の活動の継続に感心しました。
- お二人のコーディネーターから、課題や苦労話が聞けて良かったです。

② 第三中学校

「三中サポートーズの仲間づくり」

発表者 西田さん（コーディネーター）



2.【三中サポートーズ】とは
●小規模かつ専門性の低い
「ちょこっと学校支援」の仕組み
●必要となった時に事前登録したサポートーさんに依頼を配信し、その時「できる方が
できる範囲で」支援を行う人材バンク的な形

- 連絡システムの構築や通信の発行、様々な工夫から、思いが伝わってきました。



一第2部一

グループトーク

数人のグループに分かれ、互いの学校の活動や課題を情報交換しました。



明るく粘り強く
前向きに！
思いを共有できた！

これから何をすべきか
広い視野から考えることができました。

いろいろな立場の方々の話が聞けて参考になりました。

時間が足りないくらい盛り上りました。

大勢の方々が頑張っていることを知り励みになりました。楽しみながら続けていきたいです。

このような情報交換の場が必要です。良いところは真似したいです。

② 真田中コミュニティルーム見学会

9月24日、真田中学校のコミュニティルームの見学会を開催しました。真田中応援団の皆さんに迎えられ、市内の学校運営委員やボランティア、公民館関係者21名が参加しました。

ルームの名称は「サルビアルーム」

生徒が名付けました。生徒の憩いの場です。毎週水曜日の2時間目の休み時間や昼休みに多くの生徒が集います。

サルビアルームには遊び道具がたくさん

トランプ、オセロ、ボードゲーム、筒けん、皿回し、バランスタワー、折り紙…友だちや地域の人といっしょに楽しめます。



・中学校のルームを初めて見ました。生徒が元気いっぱい驚きました。

・中学生が素の姿で楽しんでいて、地域の方との連携が素晴らしいと思いました。

・見学できて良かったです。中学校のルームが他にも拡がるといいと思いました。



真田中応援団から

授業の疲れを癒せる場があれば…と思い、休み時間のルームや「放課後カルチャークラブ」を始めました。大勢の地域の方々が参加してくれています。

各学校・各地域の取り組みには持続可能な活動にするためのヒントがたくさんあります。見学会や研修会、交流会等学び合う機会が増えるよう、これからも皆様の御協力をお願いいたします。

本紙を最後までお読みくださいありがとうございます

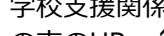
- ★他校の活動を見学したい！
- ★他校のボラと交流したい！
- ★自校で研修をしたい！
- ★コミュニティルームをつくりたい！

生涯学習係に
御相談ください

出前講座も
あります

お問合せ先

生涯学習・文化財課
☎ 0268-23-6370
メール
shogaku@cityUEDA.nagano.jp



学校支援関係
の市のHP ↑